

# 哲学の杜 巨摩高校

校長 輿水秀志



（大編成の部）において35年ぶり2回目の金賞を獲得するとともに、西関東大会出場を決めました。さらに、夏季休業に入る少し前には夏の高校野球の帝京三高との試合に全校応援をしましたが、全校一丸となった熱い応援に巨摩高校生は特別の思いを抱いたようです。

このように多くの巨摩高校生が、夏季休業中、力を尽くし一段と成長した姿を見せられたことが、このうえもない喜びとなっております。今年には異常気象や災害、新型インフルエンザなどの不安が多かった夏でしたが、そんな不安を吹き飛ばすかのように、多くの巨摩高校生が笑顔で、明るく元気に気持ち良いあいさつをしてくれます。そして真剣な表情で授業を受けたり、放課後はクラブや体育館などから元気な声が聞こえたり、進修館（文化創造館）からは朝に夕に西関東大会に出場する吹奏楽部のダイナミックな迫力のあるすばらしい演奏が響いてきます。9月に入ってから巨摩高校生たちの青春の輝きを感じています。

見定めた後に行動することが大切だということですが、正しい、ベストであると判断したからには、どんな困難があろうと勇気をもって行動する。それが若さであり、より良く生きることではないでしょうか。高校時代は再びもどってこない貴重な青春です。巨摩高校生諸君が多く目の前において自分自身に負けることなく、善悪の判断をきちんと身につけながら、思いやりの心をもって悔いのない日々を送って欲しいと思います。今年、奈良でのインターハイの大会スローガンは「君が今 歴史の新たなページを創る」でした。巨摩高校生諸君「君が今 巨摩高校の歴史の新たなページを創る」の意気込みで充実した楽しい友情に溢れた日々を笑顔で送って欲しいと思います。

9月上旬記



夏季休業も終わり、巨摩高校は8月24日から授業がスタートしました。夏休み明けの集会で、全校生徒の一段と成長した元気な顔や姿を見て、私はとても嬉しくなりました。夏季休業中は、学習面では課外や登校学習会、宿泊学習会や県の衛生公害研究所での化学実験などに、部活動面では各部とも練習や練習試合、県内や県外のチームとの合同合宿にと友達と励まし合ったり切磋琢磨する中でよく頑張りました。また、陸上部や弓道部やホッケー部はインターハイに出場したり、全国総文祭に出場し、健闘した生徒もいました。吹奏楽部も8月3日に行われた吹奏楽コンクールA部門

災害、新型インフルエンザなどの不安が多かった夏でしたが、そんな不安を吹き飛ばすかのように、多くの巨摩高校生が笑顔で、明るく元気に気持ち良いあいさつをしてくれます。そして真剣な表情で授業を受けたり、放課後はクラブや体育館などから元気な声が聞こえたり、進修館（文化創造館）からは朝に夕に西関東大会に出場する吹奏楽部のダイナミックな迫力のあるすばらしい演奏が響いてきます。9月に入ってから巨摩高校生たちの青春の輝きを感じています。



Philosophy Lives! Oma High School.

## 特集 01

### 夏の甲子園県予選 選手と応援席が一体となった。

第91回全国高等学校野球選手権大会山梨県予選で巨摩高は初戦、帝京第三高校に11-9の接戦で勝利しました。続く3回戦では都留高校に2-5で惜敗しました。

### 全国高校総体 巨摩高の名を全国に。

7月29日から奈良県を中心に全国高校総体が開催されました。3年生の野澤啓佑君が開会式で山梨県選手団の旗手を務めました。陸上競技400MHで優勝が期待された野澤君は、準決勝で涙をのみました。ホッケー女子は今市高校（栃木）に0-4で敗れました。弓道個人女子で3年生の望月菜央さん、2年生の秋山未来さん、陸上走り高跳びで3年生の平澤大貴君、自転車で3年生の新井僚太郎君がケイリンに出場しました。

いずれも予選突破は成りませんが、例年になく多くの競技で出場し、全国に巨摩高の名を響かせました。

# 今年も熱かった!! 今年もがんばった!! 巨摩高の夏 2009

### 全国総合文化祭 研究の成果を全国の舞台で。

第33回全国総合文化祭が三重県で行われ、巨摩高からは自然科学部の2年生石塚昭平君と斉藤征也君、保坂昂君、文芸部門の俳句の部に3年生の永棹健太君が出場しました。自然科学部門は、7月30-31日に熊野市で行われ、「楡形山のトンボ」をテーマに発表し、文化連盟賞を受賞しました。文芸俳句部門は7月31-8月2日に伊勢市で開催され、「道祖神山百合の香の中に座す」が全国上位8人の優秀句賞に選ばれました。

### NHK杯全国放送コンテスト 山梨県勢として 唯一、準決勝に進出。

7月23日に東京のオリンピック記念青少年総合センターで行われた第56回NHK杯全国放送コンテストでは、朗読部門に出場した3年生の増山彩乃さんが、予選を通過しました。上位10名の決勝には進出できませんでした。山梨県勢としては唯一、準決勝に進出しました。

### 西関東吹奏楽コンクール 36年ぶりの快挙。

第49回山梨県吹奏楽コンクールで金賞に輝いた吹奏楽部は、9月5日以前橋市の群馬県民会館で行われた第15回西関東吹奏楽コンクール、Aパート（大編成の部）に出場し、銅賞を受賞しました。Aパートでの関東大会出場は巨摩高にとって36年ぶりの快挙です。

### 総文祭に参加して

永棹健太

今年の総文祭は、2回目という事もあって焦りや不安は特にありませんでした。しかし、やはり現地にしていると、独特な雰囲気や飲み込まれそうになりました。今年の開催地三重県は、松尾芭蕉生誕の地と言ったこともあるのか、昨年よりレベルの高い句が見受けられました。多くの人と交流して、俳句に対する意見を聞くことができ、俳句への気持ちや意識をより高めることができたと思います。

